

# 「子どもの読み解く力」 とは何か

子どもの読み解く力育成事業

リーディングスキルプロジェクトチーム

## 【読み解く力】とは

- ①文章や図表等から必要な情報を正確に取り出し、
- ②それらを比較・関連付けて読み取り、
- ③その意図や背景、理由を理解、解釈・推論して解決したり、表現したりする力



児童生徒は、  
教科書や文章を正しく読めているのでしょうか。

もしかすると

問いの内容や定義が、  
児童生徒に伝わっていないかもしれません。

説明を理解したと思っていたが、  
違う捉え方をしているかもしれません。

何について考えるのか、一人一人  
が違っているかもしれません。



# 「さとうきびは、すてるところがありません」

教科書の文章を  
読み違える児童も  
います。



## 【さとうきび会社の方の話】

…。収穫されたさとうきびは、製糖会社に集められ、砂糖の原料が作られます。また、糖分をしぼられた後のさとうきびは、発電の燃料や畑の肥料などとして使われます。さとうきびはすてるところがありません。

(小5社会科)

例えば

「さとうきびは、すてるところがありません」

この文章から、考えたことは何ですか？



捨てるところがないと、困るなあ

燃やせばいいのかな？

無駄がないということだね。

読み違いを取り上げて、確認していますか？

例えば

ゆきさんは、どこにいますか？



まえ

ゆきさん

うしろ



うしろから  
3番目

まえから  
7番目

ちょっと  
うしろの方



同じ図を見ている、一人一人の捉え方は違います。

# 例えば

深成岩は、マグマがゆっくり冷えてできました。



10年  
くらい

100年  
かな

深成岩は、マグマが  
**数十万年～数百万年**  
かけて冷えてできま  
した。



1万年  
だろう

あいまいな言葉では、受け取り方が違います。

そこで、

## 読む力を測る指標としてリーディングスキルテストを使用し、 3年間の実践研究に取り組みました。

### 【リーディングスキルテスト(RST)】(教育のための科学研究所)

事実について書かれている150字程度の短文の意味を正確に捉える力を測定するテスト。読解プロセスごとに6つのタイプから構成されており、それぞれのタイプで読解の能力値を診断する。

リーディングスキルテストが測る6分野(7項目)の汎用的読解力

① 係り受け解析	文の構造を正しく把握する。読解力の最も基礎となる能力。
② 照応解決	代名詞が何を指しているか正しく認識する。
③ 同義文判定	与えられた二文が同義かどうかを正しく判定する。語彙力や論理力が必要。
④ 推論	既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に判断する。
⑤ イメージ同定	文と非言語情報(図)を正しく対応づける。
⑥(ア)具体例同定 辞書	辞書の定義を用いて新しい語彙とその用法を獲得できる。
⑥(イ)具体例同定 理数	理数的な定義を理解し、その用法を獲得できる。